基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
14.形態機能学Ⅰ （人間のからだのしくみと働き）	巻渕　隆夫 「医師実務経験19年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	前期	15	1	8	講義

目標:　人体発生の概略と遺伝・老化が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	形から見た人体	①人体と構造と機能について何を学ぶか ②人体の構造と機能をどのように学ぶか	講義	
2	2	形から見た人体	③体表から蝕知する人体の構造 ④人体の構造と区分	講義	
3	2	形から見た人体	⑤人体の部位と器官 ⑥方位と位置を示す用語	講義	
4	2	素材からみた人体	①細胞の構造 ②細胞を構成する物質エネルギーの生成	講義	
5	2	素材からみた人体	③細胞膜の構造と機能 ④細胞の増殖と染色体	講義	
6	2	素材からみた人体	⑤分化した細胞がつくる組織	講義	
7	2	機能からみた人体	①体液とホメオスタシス	講義	
8	1	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　人体の構造と機能　解剖生理学　医学書院

評価方法

筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
15.形態機能学Ⅱ 生命活動のしくみ：調節機構 （循環器系・呼吸器系）	西川　賢　（1～8回）「医師」 清水　崇（9～14回）「医師」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	前期	30	1	15	講義

目標：　1. 人間の循環器系のしくみと働きが理解できる

2. 人間の呼吸器系のしくみと働きが理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	循環器系の構成 心臓の構造	循環器系の構成 心臓の位置と外形	講義	
2	2	心臓の拍出機能	心臓の興奮とその伝播 心電図	講義	
3	2	心臓の拍出機能	心臓の収縮	講義	
4	2	末梢循環系の構造	血管の構造 肺循環の血管	講義	
5	2	末梢循環系の構造	体循環の動脈 体循環の静脈	講義	
6	2	血液循環の調節	血圧（動脈圧） 血液の循環 血圧・血流量の調節 微小循環	講義	
7	2	血液循環の調節	循環器系の病態生理	講義	
8	2	リンパとリンパ管	リンパ管の構造 リンパ管の循環	講義	
9	2	呼吸器の構造	呼吸器の構成 上気道　下気道と肺 胸膜・縦隔	講義	
10	2	呼吸	内呼吸と外呼吸 呼吸器と呼吸運動	講義	
11	2	呼吸	呼吸気量 ガス交換とガスの運搬	講義	
12	2	呼吸	肺の循環と血流 呼吸運動の調節 呼吸器系の病態生理	講義	
13	2	血液	血液の組成と機能 赤血球　白血球　血小板 血漿タンパクと質と赤血球沈降速度	講義	
14	2	血液	血液凝固と繊維素溶解 血液型	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　人体の構造と機能　解剖生理学　　医学書院

評価方法

筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
16.形態機能学Ⅲ 生命活動のしくみ：調節機構 （消化器系・内分泌系・泌尿器系）	関谷　伸一

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	前期	30	1	15	講義

目標：　1．人間の栄養と吸収（消化器系）のしくみと働きが理解できる
2．人間の内分泌（内蔵機能系）のしくみと働きが理解できる
3．人間の体液の調節と尿の生成（腎・泌尿器系）のしくみと働きが理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	口・咽頭・食道の構造と機能	口の構造と機能 咽頭と食道の構造と機能	講義	
2	2	腹部消化管の構造と機能	胃の構造 胃の機能	講義	
3	2	腹部消化管の構造と機能	小腸の構造 小腸の機能	講義	
4	2	腹部消化管の構造と機能	栄養素の消化と吸収 大腸の構造 大腸の機能	講義	
5	2	膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能	膵臓 肝臓と胆嚢の構造 肝臓の機能	講義	
6	2	腹膜	腹膜と腸間膜 腹膜と内臓の位置関係 胃の周囲の間膜	講義	
7	2	内分泌系による調節	内分泌とホルモン ホルモンの化学構造と作用機序	講義	
8	2	全身の内分泌腺と内分泌細胞	視床下部－下垂体系 甲状腺と副甲状腺 副腎 性腺 その他の内分泌腺	講義	
9	2	ホルモン分泌の調節	神経性調節 物質の血中濃度による自己調節 促進・抑制ホルモンによる調節 負のフィードバック 正のフィードバック	講義	
10	2	ホルモンによる調節の実際	ホルモンによる糖代謝の調節 ホルモンによるカルシウム代謝の調節 ストレスとホルモン 乳房の発達と乳汁分泌 高血圧をきたすホルモン	講義	
11	2	腎臓	腎臓の構造の機能 糸球体の構造と機能 尿細管の構造と機能	講義	
12	2	腎臓	傍糸球体装置 クリアランスと糸球体濾過量 腎臓から分泌される生理活性物質	講義	
13	2	排尿路	排尿路の構造 尿の貯蔵と排尿	講義	
14	2	体液の調節	水の出納 脱水 電解質の異常 酸塩基平衡	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　人体の構造と機能　解剖生理学　　医学書院

評価方法　　筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
17.形態機能学Ⅳ 生命活動のしくみ：調節機構 （神経系・感覚器系）	巻渕　隆夫 「医師実務経験19年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	前期	30	1	15	講義

目標：　1．人間の情報の受容と処理（神経系）のしくみと働きが理解できる
　　2．人間の身体防御と適応（感覚器系）のしくみと働きが理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	自律神経による調節	自律神経の機能 自律神経の構造 自律神経の神経伝達物質と受容体	講義	
2	2	神経系の構造と機能	神経細胞と支持細胞 ニューロンでの興奮の伝導 シナプスでの興奮の伝達 神経系の構造	講義	
3	2	脊髄と脳	脊髄の構造と機能 脳の構造と機能	講義	
4	2	脊髄神経と脳神経	脊髄神経の構造と機能 脳神経の構造と機能	講義	
5	2	脳の高次機能	脳波と睡眠 記憶 本能行動と情動行動	講義	
6	2	脳の高次機能	内臓調節機能 中枢神経系の障害	講義	
7	2	運動機能と下行伝導路 感覚機能と上行伝導路	運動ニューロン 下行（遠心）伝導路 感覚の種類 感覚の性質	講義	
8	2	感覚機能と上行伝導路	体性感覚の受容器の種類 皮膚の感覚受容器の分布 上行（求心）伝導路	講義	
9	2	眼の構造と視覚	眼球の構造 眼球付属器 視覚	講義	
10	2	耳の構造と聴覚・平衡覚	耳の構造 聴覚 平衡覚	講義	
11	2	味覚と嗅覚 疼痛（痛み）	味覚器と味覚 嗅覚器と味覚 痛みの分類 疼痛の発生機序	講義	
12	2	皮膚の構造と機能	皮膚の組織構造 皮膚の付属器 皮膚の血管と神経 皮膚の機能	講義	
13	2	生体の防御機構	非特異的防御機構 特異的防御機構－免疫 生体防御の関連臓器	講義	
14	2	体温とその調節	熱の出納 体温の分布と測定 体温調節 発熱 高体温と低体温	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　人体の構造と機能　解剖生理学　　医学書院

評価方法

筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
18.形態機能学Ⅴ 生命活動のしくみ：調節機構 （骨格系・筋系・生殖器系）	関谷　伸一

	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	前期	30	1	15	講義

目標：　1．身体の支持と運動（筋肉・骨格系）のしくみと働きが理解できる
　　2．生殖・発生・老化のしくみと働きが理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	骨格とはどのようなものか	人体の骨格 骨の形態と構造 骨の組織と組成 骨の発生と成長 骨の生理的な機能	講義	
2	2	骨の連結	関節 不動性の連結	講義	
3	2	骨格筋	骨格筋の構造 骨格筋の作用 骨格筋の神経支配	講義	
4	2	体幹の骨格と筋	脊柱 胸郭 背部の筋 胸部の筋 腹部の筋	講義	
5	2	上肢の骨格と筋	上肢帯の骨格 自由上肢の骨格 上肢帯の筋群	講義	
6	2	上肢の骨格と筋	上腕の筋群 前腕の筋群 手の筋群 上肢の運動	講義	
7	2	下肢の骨格と筋	下肢帯と骨盤 自由下肢の骨格 下肢帯の筋群	講義	
8	2	下肢の骨格と筋	大腿の筋群 下腿の筋群 足の筋 下肢の運動	講義	
9	2	頭頸部の骨格と筋	神経頭蓋（脳頭蓋） 内臓頭蓋（顔面頭蓋） 頭部の筋 頸部の筋	講義	
10	2	筋の収縮	骨格筋の収縮機構 骨格筋収縮の種類と特性 不随意筋の収縮の特徴	講義	
11	2	男性生殖器	精巣（睾丸） 精路（生殖路）と付属生殖腺 男性の外陰部 男性の生殖機能	講義	
12	2	女性生殖器	卵巣 卵管・子宮・膣 女性の外陰部と会陰 乳腺 女性の生殖機能	講義	
13	2	受精と胎児の発生	生殖細胞と受精 初期発生と着床 胎児と胎盤	講義	
14	2	成長と老化	小児期の成長 老化	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料
　e系統看護学講座　人体の構造と機能　解剖生理学　　医学書院

評価方法
　筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
19.病態生理・治療学Ⅰ （疾病の成り立ちと治療法）	伊達　和俊「医師実務経験28年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	1	15	講義

目標:　　1. 基本的な病変の原理を理解する

　　2. 治療法の概要が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	病理学	病理学の領域	講義	
2	2	病理学	細胞・組織とその障害 再生と修復	講義	
3	2	病理学	循環障害	講義	
4	2	病理学	炎症 免疫とアレルギー	講義	
5	2	病理学	感染症 代謝異常	講義	
6	2	病理学	老化と老年病 新生児の病理	講義	
7	2	病理学	先天異常 腫瘍	講義	
8	2	病理学	生命の危機 ショック　DIC　MOF　ARDS	講義	
9	2	治療法概説	薬物療法 薬物の作用・薬物の濃度・薬用量 医薬品および処方せんに関する法令	講義	
10	2	治療法概説	食事療法 栄養学の基本　患者と栄養 各種病態と食事療法の基本方針	講義	
11	2	治療法概説	運動療法 リハビリテーション療法	講義	
12	2	治療法概説	放射線療法	講義	
13	2	治療法概説	内視鏡的治療	講義	
14	2	治療法概説	手術療法	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　疾病の成り立ちと回復の促進　1　病理学

新体系看護学全書　治療法概説(別巻13)

評価方法

筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
20.病態生理・治療学Ⅱ 神経・精神機能の障害 （脳・神経系・精神疾患）	福原　信義（1～10）「医師実務経験53年」 戎井　豊　（11～14）「医師実務経験7年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	1	15	講義

目標：脳・神経系、精神疾患の機能障害についての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる。

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	基礎的知識	1)構造と機能　2)症状と病態生理 3)検査・診断と治療・処置	講義	
2	2	主な疾病と診療 脳疾患	1）脳血管障害　　2）脳腫瘍 3）頭部外傷 4）脳脊髄液（髄液）の異常	講義	
3	2	主な疾病と診療 脊髄疾患	1）脊髄血管障害　　2）脊髄炎 3）亜急性連合性脊髄変性症 4）頸椎症・腰椎症　　5）脊髄腫瘍 6）脊髄空洞症	講義	
4	2	主な疾病と診療 末梢神経障害	1）糖尿病性ﾆｭｰﾛﾊﾟﾁｰ　2）ｱﾙｺｰﾙ性ﾆｭｰﾛﾊﾟﾁｰ 3）ｷﾞﾗﾝﾊﾞﾚｰ症候群　4）慢性炎症性脱髄性多発ﾆｭｰﾛﾊﾟﾁｰ　5）単ﾆｭｰﾛﾊﾟﾁｰ　6）神経痛 7）顔面神経麻痺　8）顔面けいれん	講義	
5	2	主な疾病と診療 筋疾患・神経筋接合部疾患	1）筋ジストロフィー　　2）多発性筋炎・皮膚筋炎 3）ステロイドミオパチー　4）その他のミオパチー	講義	
6	2	主な疾病と診療 脱髄・変性疾患	1）脱髄疾患 2）脳・神経の変性疾患	講義	
7	2	主な疾病と診療 脳・神経系の感染症	1）脳炎　　2）髄膜炎 3）脳腫瘍　　4）その他の神経感染症	講義	
8	2	主な疾病と診療 中毒	1）急性中毒のプライマリケア 2）おもな中毒性疾患	講義	
9	2	主な疾病と診療 てんかん	1）おもなてんかんの発作型 2）てんかんの検査と治療	講義	
10	2	主な疾病と診療 認知症 内科疾患に伴う神経疾患	1）アルツハイマー病　　2）脳血管性認知症 3）レビー小体型認知症　4）前頭側頭型認知症 1）神経ベーチェット病　　2）甲状腺機能低下症 3）神経サルコイドーシス	講義	
11	2	主な精神疾患/障害	精神疾患/障がいの診断基準・分類 1）神経発達症候群/神経発達障害群 2）統合失調症　3）双極性障害	講義	
12	2	主な精神疾患/障害	4）抑うつ症候群　5）不安症候群 6）強迫症　7）PTSD	講義	
13	2	主な精神疾患/障害	8）摂食障害　9）物質関連生涯 10)パーソナリティ障害　11）てんかん	講義	
14	2	精神疾患の主な治療	薬物療法　電気けいれん療法 精神療法	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　成人看護学　7　脳・神経　医学書院

新体系看護学全書　精神看護学2　精神障害を持つ人の看護　メヂカルフレンド社

評価方法

筆記試験　：　脳神経系(70点)、　精神疾患(30点)

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
21.病態生理・治療学Ⅲ 呼吸・循環・造血機能障害 （呼吸器・循環器・造血器疾患）	1～5　清水　崇「医師実務経験」 6～10　大堀　高志「医師実務経験18年」 11～14　入江誠治「医師実務経験38年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	1	15	講義

目標:　1. 呼吸器の機能障害についての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる

2. 循環器の機能障害についての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる

3. 造血器の機能障害についての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	呼吸器疾患 基礎的知識	構造と機能 症状と病態生理 検査と治療・処置	講義	
2	2	呼吸器疾患 主な疾患と診療	1）感染症 2）間質性肺疾患	講義	
3	2	呼吸器疾患 主な疾患と診療	3）気道疾患 4）肺血栓塞栓症	講義	
4	2	呼吸器疾患 主な疾患と診療	5）呼吸不全 6）呼吸調節に関する疾患 7）肺腫瘍	講義	
5	2	呼吸器疾患 主な疾患と診療	8）肺・肺血管の形成異常 9）胸膜・縦隔・横隔膜の疾患 10）肺移植 11）胸部外傷	講義	
6	2	循環器疾患 基礎的知識	構造と機能 症状と病態生理 検査と治療	講義	
7	2	循環器疾患 主な疾患と診療	1）虚血性心疾患 2）心不全	講義	
8	2	循環器疾患 主な疾患と診療	3）血圧異常 4）不整脈	講義	
9	2	循環器疾患 主な疾患と診療	5）弁膜症 6）心膜炎 7）心筋疾患 8）肺性心	講義	
10	2	循環器疾患 主な疾患と診療	9）先天性肺疾患 10）動脈系疾患 11）静脈系疾患 12）リンパ系疾患	講義	
11	2	造血器疾患 基礎的知識	血液の生理と造血のしくみ 検査・診断と症候・病態生理	講義	
12	2	造血器疾患 主な疾患と診療	1）赤血球系の異常	講義	
13	2	造血器疾患 主な疾患と診療	2）白血球系の異常 3）造血器腫瘍	講義	
14	2	造血器疾患 主な疾患と診療	4）出血性疾患	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　成人看護学　2呼吸器　3循環器　4血液・造血器　医学書院

評価方法

筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
22.病態生理・治療学Ⅳ 栄養摂取・吸収機能の障害 （消化管・肝臓・胆嚢・膵臓疾患）	野尻　義文 「医師実務経験24年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	1	15	講義・演習

目標:　消化管・肝臓・胆道・膵臓の機能障害についての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	消化器の構造と機能	各臓器の構造と機能	講義	
2	2	症状とその病態生理	消化器疾患における症状、徴候の特徴とその病態生理	講義	
3	2	検査と治療	消化器疾患の診察と診断の方法について各種の検査の意義・目的・実施法・適応疾患について	講義	
4	2	検査と治療	消化器疾患の診察と診断の方法について各種の検査の意義・目的・実施法・適応疾患について	講義	
5	2	検査と治療	各種治療法の概要と適応疾患について	講義	
6	2	疾患の理解	食道の疾患	講義	
7	2	疾患の理解	胃・十二指腸疾患	講義	
8	2	疾患の理解	胃・十二指腸疾患	講義	
9	2	疾患の理解	腸および腹膜疾患	講義	
10	2	疾患の理解	腸および腹膜疾患	講義	
11	2	疾患の理解	肝臓・胆のうの疾患	講義	
12	2	疾患の理解	肝臓・胆のうの疾患	講義	
13	2	疾患の理解	膵臓の疾患	講義	
14	2	疾患の理解	急性腹症　腹部外傷	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　成人看護学　5　消化器　医学書院

e系統看護学講座　疾病の成り立ちと回復の促進　1　病理学

新体系看護学全書　治療法概説(別巻13)

評価方法

筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
23.病態生理・治療学Ⅴ 内分泌・排泄機能の障害 （腎疾患・代謝内分泌疾患）	1～8　上野 光博「医師実務経験4年」 9～14　高橋 慶一「医師実務経験43年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	1	15	講義

目的:　1. 腎機能障害についての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる

2. 代謝・内分泌の機能障害についての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	腎疾患 基礎的知識	腎臓・泌尿器の構造と機能	講義	
2	2	腎疾患 基礎的知識	症状とその病態生理	講義	
3	2	腎疾患 基礎的知識	検査と治療・処置	講義	
4	2	腎疾患 基礎的知識	検査と治療・処置	講義	
5	2	腎疾患 疾患の理解	腎疾患の理解	講義	
6	2	腎疾患 疾患の理解	腎疾患の理解	講義	
7	2	腎疾患 疾患の理解	腎疾患の理解	講義	
8	2	腎疾患 疾患の理解	腎疾患の理解	講義	
9	2	内分泌・代謝疾患 基礎的知識	構造と機能 症状と病態生理 検査	講義	
10	2	内分泌・代謝疾患 基礎的知識	構造と機能 症状と病態生理 検査	講義	
11	2	内分泌・代謝疾患 疾患の理解	内分泌疾患の理解	講義	
12	2	内分泌・代謝疾患 疾患の理解	内分泌疾患の理解	講義	
13	2	内分泌・代謝疾患 疾患の理解	代謝疾患の理解	講義	
14	2	内分泌・代謝疾患 疾患の理解	代謝疾患の理解	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　成人看護学　8腎・泌尿器　6内分泌・代謝　医学書院

評価方法

筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
24.病態生理・治療学Ⅵ 運動・感覚機能の障害 （運動器・感覚器・歯科・口腔系疾患）	稲　晃市郎　医師19年 沖田　渉　医師35年 傳田博司　医師26年 伴野正明　医師45年 飯原　仁　医師48年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	30	1	15	講義・演習

目標：　1. 運動器の機能障害についての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる

2. 感覚器の機能障害についての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる

3. 歯科・口腔系の機能障害についての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	運動器疾患 基礎的知識	運動器の構造と機能 症状とその病態生理	講義	
2	2	運動器疾患 主な疾病と治療	診断・検査と治療・処置	講義	
3	2	運動器疾患 主な疾病と治療	外傷性の(外因性)の運動器疾患	講義	
4	2	運動器疾患 主な疾病と治療	外傷性の(外因性)の運動器疾患	講義	
5	2	運動器疾患 主な疾病と治療	内因性(非外傷性)の運動器疾患	講義	
6	2	運動器疾患 主な疾病と治療	内因性(非外傷性)の運動器疾患	講義	
7	2	感覚器疾患(皮膚科) 基礎的知識	皮膚の構造と機能 症状とその病態生理 検査と治療・処置	講義	
8	2	感覚器疾患(皮膚科) 主な疾病と診療	疾患の理解	講義	
9	2	感覚器疾患(眼科) 基礎的知識	眼の構造と機能 症状とその病態生理 検査と治療・処置	講義	
10	2	感覚器疾患(眼科) 主な疾病と診療	疾患の理解	講義	
11	2	感覚器疾患(耳鼻科) 基礎的知識	耳鼻咽喉・頸部の構造と機能 症状とその病態生理 検査と治療	講義	
12	2	感覚器疾患(耳鼻科) 主な疾病と診療	疾患の理解	講義	
13	2	歯科・口腔系疾患 基礎的知識	歯・口腔の構造と機能 症状とその病態生理 検査と治療・処置	講義	
14	2	歯科・口腔系疾患 主な疾病と診療	疾患の理解	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　成人看護学　10運動器　12皮膚　13眼　14耳鼻咽喉　15歯・口腔　医学書院

評価方法

筆記試験

基礎分野　専門基礎分野　専門分野

科目名	担当者
25.病態生理・治療学Ⅶ 感染・免疫防御機構の障害 （泌尿器・生殖器疾患・免疫アレルギー・感染症）	太田求磨　医師24年 片桐明善　医師24年 下村登規夫　医師34年 山崎一郎　医師37年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	30	1	15	講義

目標：　1. 泌尿生殖器の機能障害についての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる

2. 免疫アレルギーについての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる

3. 感染症についての病態生理・症状・検査・診断・治療が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	泌尿生殖器疾患 基礎的知識	構造と機能 症状と病態生理 検査と治療・処置	講義	
2	2	泌尿生殖器疾患 疾患の理解	泌尿器の疾患	講義	
3	2	泌尿生殖器疾患 疾患の理解	感染症 生殖器の疾患	講義	
4	2	女性生殖器疾患 基礎的知識	構造と機能 症状と病態生理 診察・検査と治療・処置	講義	
5	2	女性生殖器疾患 疾患の理解	性分化疾患 臓器別疾患	講義	
6	2	女性生殖器疾患 疾患の理解	機能的疾患 感染症	講義	
7	2	アレルギー 基礎的知識・疾患の理解	免疫のしくみとアレルギー 検査と治療 症状と疾患の理解	講義	
8	2	膠原病 基礎的知識・疾患の理解	自己免疫疾患とその機序 症状と病態生理	講義	
9	2	膠原病 基礎的知識・疾患の理解	検査と治療 疾患の理解	講義	
10	2	感染症とは	1)感染症とは何か　2)感染症が成立する条件 3)感染症の病態整理 さまざまなレベルにおける感染症 4)感染症でみられる症状 (1)気道の症状　(2)胸痛　(3)腹痛 (4)頭部にみられる症状　(5)皮疹　(6)発熱(不明熱)	講義	
11	2	感染症 疾患の理解	1)人動物咬傷　2)その他のｳｨﾙｽ性感染症 3)真菌感染症　4)寄生虫感染症 5)HIV感染症と日和見感染症	講義	
12	2	感染症 疾患の理解	6)新興・再興感染症　7)多剤耐性菌感染症 8)悪性腫瘍、造血幹細胞移植、固形臓器移植に伴う感染症	講義	
13	2	感染症 治療	1)感染症治療の原則　2)抗菌薬 3)抗真菌薬　4)抗ウイルス薬 5)一次予防と二次予防	講義	
14	2	感染症 患者の看護	1)感染経路別予防対策と隔離方法 2)洗浄・消毒・滅菌 3)アウトブレイクへの対応 4)院内感染対策の実際	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　成人看護学　8腎・泌尿器　9女性生殖器　11アレルギー・膠原病・感染症
医学書院

評価方法

筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野	
科　目　名				担　当　者	
26.薬理学Ⅰ				古川和久「薬剤師実務経験44年」	
年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	15	1	8	講義

目標:　1. 薬理作用と薬物動態が理解できる

2. 薬物の安全管理が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	薬理学総論	薬理学とはなにか 薬による病気の治療	講義	
2	2	薬理学の基礎知識	薬が作用するしくみ（薬力学）	講義	
3	2	薬理学の基礎知識	薬の体内の挙動（薬物動態学）	講義	
4	2	薬理学の基礎知識	薬物相互作用	講義	
5	2	薬理学の基礎知識	薬効の個人差に影響する因子 薬物使用の有益性と危険性	講義	
6	2	薬理学の基礎知識	薬と法律	講義	
7	2	看護業務に必要な薬の知識	薬に関する単位 処方箋 添付文書	講義	
8	1	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　薬理学　医学書院

評価方法

筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
27.薬理学Ⅱ	古川和久　薬剤師44年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	30	1	15	講義

目標:　1. 薬物治療における各種薬物の作用機序と人体に与える影響が理解できる

2. 薬物治療における基本的使用法が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	消毒薬 輸液製剤・輸血剤	1）消毒薬 2）輸液製剤 3）輸血剤	講義	
2	2	心臓・血管系に作用する薬物	1）抗高血圧薬 2）狭心症治療薬 3）心不全治療薬　4）抗不整脈薬	講義	
3	2	心臓・血管系に作用する薬物	5）利尿薬 6）脂質異常症治療薬 7）血液に作用する薬物	講義	
4	2	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	1）呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 2）消化器系に作用する薬物 3）生殖器・泌尿器系に作用する薬物	講義	
5	2	物質代謝に作用する薬物	1）ホルモンとホルモン拮抗薬 2）治療薬としてのビタミン	講義	
6	2	中枢神経系に作用する薬物	6）パーキンソン症候群治療薬 7）抗てんかん薬　4）麻薬性鎮痛薬	講義	
7	2	中枢神経系に作用する薬物	1）中枢神経系の働きと薬物　2）全身麻酔薬 3）催眠薬・抗不安薬　4）抗精神病薬 5）気分障害治療薬	講義	
8	2	抗感染症薬	1）感染症治療に関する基礎事項 2）抗感染症薬各論 3）特殊な感染症の治療薬 4）感染症の治療における問題点	講義	
9	2	抗がん剤	1）がん治療に関する基礎事項 2）抗がん薬各論	講義	
10	2	免疫治療薬	1）免疫系の基礎知識 2）免疫抑制薬 3）免疫増強薬・予防接種薬	講義	
11	2	抗アレルギー薬・抗炎症薬	1）抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬 2）炎症と抗炎症薬　3）関節リウマチ薬 4）痛風・抗尿酸血症治療薬　5）片頭痛治療薬	講義	
12	2	末梢での神経活動に作用する薬物	1）神経系による情報伝達　2）自律神経系作用薬 3）交感神経作用薬　4）副交感神経作用薬 5）筋弛緩薬・局所麻酔薬	講義	
13	2	皮膚科用薬・眼科用薬 救急の際に使用される薬物	1）皮膚に使用する薬物　2）眼科用薬 3）救急に用いられる薬物 4）急性中毒に対する薬物	講義	
14	2	漢方薬	1）漢方医学の基礎知識 2）漢方薬各論	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　薬理学　医学書院

評価方法

筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
28.代謝栄養学	中谷　成利（管理栄養士） 「栄養士実務経験20年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	1	15	講義

目標:　1．人間の発達と食の意義が理解できる

2．健康的な生命現象を営む食事と病態に関わる栄養との差異が理解できる

3．食事療法の意義が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	健康と栄養 日常生活と栄養	1）栄養とは　2）健康と栄養　3）看護と栄養 4）食と文化　5）食習慣と栄養 6）日本人の食事接種率　7）スポーツと栄養	講義	
2	2	栄養指導・保健指導	1）栄養指導の過程 2）入院患者のための食事の調整 3）保健指導 2）食生活と栄養管理 3）日本人の食事摂取基準　4）スポーツと栄養	講義	
3	2	食物と栄養	1）食品の種類と栄養素 2）栄養素とその働き 3）食物の摂取と消化・吸収	講義	
4	2	ライフステージと健康教育	1）ライフステージに適した栄養・健康指導 2）妊娠期・授乳期 3）乳幼児期　　4）学童期	講義	
5	2	ライフステージと健康教育	5）思春期 6）成人期 7）老年期	講義	
6	2	疾患別食事指導の実際	1）糖尿病	講義	
7	2	疾患別食事指導の実際	2）高血圧	講義	
8	2	疾患別食事指導の実際	3）脂質異常症・肥満・痛風 4）虚血性心疾患	講義	
9	2	疾患別食事指導の実際	5）脳卒中 6）COPD（慢性閉塞性肺疾患）	講義	
10	2	疾患別食事指導の実際	7）肝炎・肝硬変 8）膵炎・胆石症	講義	
11	2	疾患別食事指導の実際	9）CKD（慢性腎臓病） 10）潰瘍性大腸炎・クローン病	講義	
12	2	疾患別食事指導の実際	11）胃切除術後（周術期） 12）摂食・嚥下障害　　13）褥瘡	講義	
13	2	経管栄養と中心静脈栄養	1）栄養療法 2）経管栄養法の実際	講義	
14	2	経管栄養と中心静脈栄養の管理と指導	3）静脈栄養法の実際 4）在宅栄養療法の管理と指導 5）栄養管理におけるチームアプローチ	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

わかりやすい栄養学　第4版　ヌーベルヒロカワ

評価方法

筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野	
科　目　名				担　当　者	
29.現代医療論Ⅰ				篭島　充「医師実務経験35年」	
年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	前期	15	1	8	講義

目標:　健康と疾病・障害と保健医療のあり方について理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	医療システムを理解する	医療を支える人々 （さまざまな医療関係職種とチーム医療）	講義	
2	2	医療システムを理解する	保健医療サービスの提供体制	講義	
3	2	医療システムを理解する	日本の医療保険制度	講義	
4	2	医療システムを理解する	医療政策と医療計画 医療と経済	講義	
5	2	医療システムを理解する	在宅ケアの推進 高齢ケアシステム	講義	
6	2	医療システムを理解する	救急医療の歴史と日本の現状	講義	
7	2	医療システムを理解する	災害医療と医療安全	講義	
8	1	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

学生のための医療概論　第3版増補　医学書院

評価方法

筆記試験

基礎分野　専門基礎分野　専門分野Ⅰ　専門分野Ⅱ　統合分野

科　目　名	担　当　者
30.現代医療論Ⅱ	小川太郎　医師5年　片桐公彦 寺尾明美　看護師11年　渡部恵利香　看護師7年 秋山政人　青木美代子　精神保健福祉士30年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
3	前期	30	2	15	講義

目標:　1. 保健医療・看護に関する法と倫理・経済論が理解できる

2. 現在の看護とその課題・これからの保健医療と看護が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	健康とは何だろう	健康の決定因子とヘルスプロモーション ヘルスプロモーションの科学	講義	
2	2		老人として生きる 精神を病むということ	講義	
3	2		リハビリテーションを理解しよう	講義	
4	2	医療がたどってきた道と未来への展望	近代医学の誕生	講義	
5	2		日本の近代化と医療の発達	講義	
6	2		人工環境と健康問題	講義	
7	2		医療機器の発達	講義	
8	2	地域における保健医療福祉の連携と未来への展望	1.社会福祉法人の概要 2.上越地域における社会福祉法人の現状 1）社会福祉法人みんなでいきる 1)基本理念　2)事業活動　3)課題と展望	講義	
9	2		1.上越地域に生活する重症心身障害児とその家族の現状 2.上越地域に生活する重症心身障害児とその家族への支援体制の実際 1）特定NPO法人ギフテッドSora (1)基本理念　(2)活動内容　(3)課題と展望	講義	
10	2		1.上越地域に生活する精神や発達障害児者とその家族の現状 2.上越地域に生活する精神や発達障害児者とその家族への支援体制の現状 1）NPO法人上越メンタルネットあ　ぽあん (1)基本理念　(2)活動内容　(3)課題と展望	講義	
11	2	人間の生命・尊厳の尊重	1.臓器移植の概要と歴史 2.臓器移植医療の現状と課題 3.医療と生命倫理	講義	
12	2	医療は誰のものか	1.現代医療が目指すもの 1)チーム医療の基本思想 2)QOLを目指した現代医療 (1)GW　(2)発表	GW	
13	2			GW	
14	2			GW	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

学生のための医療概論　第3版増補　医学書院

評価方法

筆記試験・GW

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
31.保健医療福祉論	1～7　大屋未輝「医療社会事業専門員実務経験20年」 8～14　南　直樹「社会福祉士実務経験18年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	2	15	講義

目標:　1. 社会保障と社会福祉が理解できる
2. 公衆衛生の変遷から公衆衛生の目的・機能が理解できる
3. 各ライフサイクルにおける保健活動の概要が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	社会保障制度と社会福祉	社会保障制度と社会福祉 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向	講義	
2	2	社会保障	医療保障	講義	
3	2	社会保障	介護保障	講義	
4	2	社会保障	所得保障	講義	
5	2	社会保障	公的扶助	講義	
6	2	社会福祉	分野とサービス	講義	
7	2	社会福祉	社会福祉実践と医療・看護 社会福祉の歴史	講義	
8	2	公衆衛生	公衆衛生のエッセンス	講義	
9	2	公衆衛生	公衆衛生の活動対象 公衆衛生のしくみ	講義	
10	2	公衆衛生	環境と健康 国際保健 集団の健康をとらえるための手法ー疫学	講義	
11	2	公衆衛生	地域保健 母子保健　成人保健	講義	
12	2	公衆衛生	地域保健 高齢者保健　精神保健	講義	
13	2	公衆衛生	地域保健 歯科保健　難病支援・障害支援 感染症対策	講義	
14	2	公衆衛生	学校と健康 職場と健康 健康危機管理・災害保健	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

e系統看護学講座　社会保障・社会福祉　医学書院

e系統看護学講座　公衆衛生　医学書院

評価方法

筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科　目　名	担　当　者
32.関係法規	小島　伸之

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	15	1	8	講義

目標:　法規の概念と保健・医療・福祉・看護に関連する法規が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	法律の概論	法律の概要	講義	
2	2	各種の関係法規	1）医療法規 2）薬事法規	講義	
3	2	各種の関係法規	3）保健衛生法規 4）予防衛生法規	講義	
4	2	各種の関係法規	5）環境保全・公害関係法規 6）環境衛生法規	講義	
5	2	各種の関係法規	7）福祉関係法規 8）その他の関係法規	講義	
6	2	看護と関係法規	看護と関係法規	講義	
7	2	看護と関係法規	看護活動と関係法規	講義	
8	1	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料

系統看護学講座　専門基礎　看護関係法令　医学書院

評価方法

筆記試験